

# 令和元年度 学校評価書【山形県立新庄神室産業高等学校真室川校】

## 教育目標

「校訓」(自律・誠心・挑戦)を根底に据え

- 1 課題解決のために自ら行動する力を育成する学校
- 2 一人一人の進路実現に向けたキャリア教育を実践する学校
- 3 心身の健康と安全に努める学校
- 4 地域の活性化に貢献できる学校
- 5 有益な情報の共有を図る学校

自己評価および学校関係者評価の基準	
A：達成	B：概ね達成
C：やや不十分	D：不十分

番号	評価項目	今年度の成果と課題	自己評価	次年度への改善点	学校関係者評価	学校関係者評価委員の意見・要望
1	教育方針 学校経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 教育方針や学校経営に対して、生徒・保護者・サポート委員からの評価が前年度同様に高く、関心や理解が得られている。</li> <li>② 本校とのキャンパス制の実施について「キャンパス制運営委員会」を中心に検討し、交流活動が充実してきた。</li> <li>③ 町からの支援を仰ぎながら分校化の教育活動を創意工夫しながら充実させてきた。その結果、地域から真室川校の教育活動に理解・共感をもっていただくことが多くなった。</li> <li>④ キャリア教育が系統的に実施されており、全職員による連携した指導体制が整ってきた。</li> </ol>	B	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 「一人ひとりがキラリと光る真校」づくりの実現に向けた取組みの維持・継続と、地域に信頼され活力あふれる教育実践を展開するとともに、PR活動や地域貢献活動を積極的にを行い認知度を高める。</li> <li>② 少人数体制による教育活動をより確固にし、生徒と向き合う時間の確保に努める。会議の削減等に取り組み業務の整理統合を推進する。</li> <li>③ 安心できる学習生活環境を継続して生徒に提供する。また、地域に根ざす人材育成についてさらに検討する。</li> <li>④ 真室川町と連携し、真校の魅力ある教育活動について協議していく。</li> </ol>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学校の魅力化に係る地域連携協議会」の充実が今後重要となる。関係各所との事前準備等、万全な体制の構築が必要である。</li> <li>○少人数体制による教育活動が活かされていると感じる。更に個々の能力を伸ばすようにしてほしい。</li> <li>○今後とも地域とのつながりを大切にしてほしい。</li> </ul>
2	学習指導	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ユニバーサルデザインの視点を大切にしながら、思考力・判断力・表現力を育む言語活動を積極的に授業に取り入れ、アクティブラーニングを実践することができた。</li> <li>② 他校の公開授業に積極的に参加し、生徒理解を深めるとともに指導法の研究に努めた。</li> <li>③ 朝学習等を使った学び直しと基礎基本の定着に注力し、順調に進んでいる。</li> <li>④ 「自学ノート」を取り入れ家庭学習の定着に取り組んだが徹底することができず不十分であった。</li> <li>⑤ 学習について困り感を持つ生徒に対して細やかな指導ができた。</li> </ol>	B	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 中学校との交流をさらに深めながら、家庭学習習慣や基礎的・基本的学習内容の定着と学習意欲の向上を促す学習活動の研究と推進に継続的に努める。</li> <li>② 新学習要領に向けた授業改善を検討する。</li> <li>③ 生徒の学習状況の現状を把握したうえで思考力・表現力を高めるための授業を工夫する。</li> <li>④ 自学ノートの活用及び朝学習を継続し、学習習慣の確立や学習の遅れがちな生徒への支援の在り方を検討する。</li> <li>⑤ 図書館利用の実践例を参考に、魅力ある図書館作りを研究し利用拡大を図る。</li> </ol>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習の定着が例年課題となっている。根本原因を分析し解決策を確立する必要がある。</li> <li>○「自学ノート」を取り入れ家庭学習の定着に取り組んでいるが、まだまだ不十分と感じる。個々に合った指導を実践してほしい。</li> </ul>
3	進路指導	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 「キャリア学習講座」や「ソーシャルスキル学習講座」は進路意識の高揚に一定の成果があった。</li> <li>② インターンシップや「進路を考えるDAY」などの進路学習会をとおり、多様化する進路に対し、生徒一人ひとりに対応する指導体制を維持・継続できている。</li> <li>③ 進路だよりを発行し、進路に関わる情報提供ができた。</li> <li>④ 多くの教育活動においてキャリア教育を軸に展開し、学習意欲及び進路意識の高揚、さらに地域理解・貢献につながった。</li> <li>⑤ キャリアパ・スポーツ導入に伴い、キャリア教育プログラム(冊子)の見直しを図った。</li> </ol>	B	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 早期離職対策として、コミュニケーション力やソーシャルスキルの向上を目指した指導方法を検討する。</li> <li>② 早期に進路目標を明確にするために面談活動を細やかに継続・推進する。</li> <li>③ キャリア教育を軸とし、3年間を見通した進路指導を全職員共通理解のもと推進する。</li> <li>④ 進路だよりを継続して発行し、進路に関する情報提供を行っていく。</li> </ol>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「コミュニケーション力」は社会に出たとき非常に重要な部分なのでスキルアップについては今後より工夫した取組が必要である。</li> <li>○キャリア教育の継続した取組をしていただき、将来地元で活躍できる人材の育成を願いたい。</li> <li>○一人一人に熱心な指導がなされていると思う。</li> </ul>

番号	評価項目	今年度の成果と課題	自己評価	次年度への改善点	学校関係者評価	学校関係者評価委員の意見・要望
4	生活指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>① キャリア教育に基づいた生活指導が維持できた。(日常のあいさつ運動、身だしなみ指導、問題行動・いじめ防止など)</li> <li>② キャリア教育に基づいた生徒会指導が維持できた。(全校ボランティア、祭りパレード、体育祭、真校祭、生徒集会など)</li> <li>③ 縦割り班による活動が定着・機能し、学校祭をはじめとする行事及び諸活動で成果が上がった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 現行の指導を維持するため、随時検討しながら生徒指導を推進する。</li> <li>② いじめやスマホの利用について新入生に対する早期の指導を行い、問題行動の未然防止に努める。</li> <li>③ 縦割り班活動を継続し、様々な場面で取り入れ、学年間交流をとおしたコミュニケーション力の育成を図る。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今年度、ほぼ「いじめ」がなく、日ごろの学校としての取組が素晴らしい成果につながっている。</li> <li>○問題行動もなくとてもよい。この状態が続くよう指導してほしい。</li> <li>○生徒の連帯感が見られるのがよいと思います。</li> </ul>
5	健康安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 全校生への「命の教育」「交通安全」「薬物乱用防止」講話を行い、心身の健康について意識を高めることができた。</li> <li>② 職員会議時の生徒理解のための情報交換会やステューデント・サポート(SS)委員会を行い、特別な支援の必要な生徒の支援ができた。</li> <li>③ スクールカウンセラー(SC)の配置により、困り感を持つ生徒への手当てができた。</li> <li>④ 歯磨きの習慣化を目指し、校内でのブラッシングを励行した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 眼科・歯科の受診率のさらなる向上を図る。</li> <li>② 学年での適時的なケース検討会を行い、特別支援の体制をさらに整える。</li> <li>③ 特別支援学校や外部支援施設との連携・協力体制の構築を継続検討する。</li> <li>④ スクールカウンセラーと連携し、生徒のシグナルの早期発見、早期対応に努める。</li> <li>⑤ 緊急連絡体制を周知徹底し、さらにメール連絡網「マメール」への加入促進を図る。</li> <li>⑥ 基本的な生活週間を身につけさせ、健康管理の意識向上に努める。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭との連携が特に必要な項目なので、双方向の連携体制を充実させることが重要である。</li> <li>○健康管理については自分の責任であるが、しっかりとした生活習慣を身につけさせてほしい。</li> <li>○健康を意識した取組ができていていると思う。</li> </ul>
6	地域連携 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 全校生徒が参加した真室川祭踊りパレードや清掃ボランティアなどに対して、町やサポート委員、保護者から一定の評価が得られた。</li> <li>② 「地域に愛され信頼される学校」の実現のため、町のイベントへの参加、ボランティア活動、校内外のあいさつ運動に取り組んだ。また、学校の理解促進のために、教育活動を発信する情報誌「ふきのとう」を発行した。</li> <li>③ 学校及び生徒に対して、町から大きな経済的支援を受け、充実した教育活動ができた。</li> <li>④ 4年に一度開催される東京同窓会が成功を収めた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>① サポート委員・事業所制度の在り方について検討する。</li> <li>② 町と連携した災害時の対応について、継続的に検討し推進する。</li> <li>③ 町からの支援に対して、滞りなく活用できるよう事務処理を行い執行する。</li> <li>④ 学校後援会やPTA等の規約を現在の状況に見合った内容に見直しを図る。</li> <li>⑤ 継続的に情報誌「ふきのとう」を発行し、地域からの理解が得られるように努める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域活動」一番のポイントは「継続」である。今後も活躍を期待する。</li> <li>○地域理解のためにもボランティア活動や地域行事は必要である。今後とも継続して取り組んでほしい。</li> <li>○ボランティア活動等、幅広く活動できていると思う。</li> </ul>